

市民と市長のタウンミーティング（要旨の報告）

日 時：令和８年７月１３日（月） １８時３０分～２０時１０分

場 所：ポラリスROOM2

テ ー マ：市政全般

参加人数：１０人

出 席 者：古谷田市長、マーケティング課長、広聴・マーケティング係４名

タウンミーティングの概要、昨年度の意見に対するフィードバックを説明後、参加者から意見聴取。

【意見】

- ・ 本年９月１９日に「発酵」をテーマとした自主映画上映会を、シリウスサブホールにて開催予定である。
- ・ 香川県の醤油蔵を舞台に、人生に悩む女性達が、周囲の人々との関わりをとおして成長していく姿を描いた作品である。
- ・ 映画鑑賞後には参加者同士で気付きなどについて語り合う対話の時間を設け、自身の暮らしや生き方、人とのつながりについて考える機会を作る。
- ・ 本事業では、発酵を単なる食品の変化ではなく、人が成長することや、人と人との関係、地域のつながりが育まれていく過程として捉えている。
- ・ 映画と対話を通じて、多様な価値観に触れながら、お互いを理解し合い、支え合う地域づくりにつなげることを目指している。
- ・ また、食をきっかけとした交流により、世代を超えたつながりを生み出し、地域コミュニティの活性化にも貢献していきたいと考えている。
- ・ 参加者からいただいた意見や感想を整理し、市民の幸福感や生きがいにつながる要素を把握することで、今後の地域づくりやウェルビーイング向上の取組に役立てていきたいと考えている。
- ・ 映画を見て語り合うことで、市民一人一人が自分らしい生き方を、地域とのつながりを見つめ直し、より豊かな地域社会づくりにつなげることが、この事業の目的である。
- ・ 今後は、この上映会をきっかけにして、市内の皆さんに広げていきたいと考えている。

【市長】

- ・ 今、大和市も新総合計画をつくり、「みんながつながる健幸都市やまと」を掲げている。
- ・ 「けんこう」の「こう」は、「幸」としている。
- ・ 発酵を通じて、人と人が出会い、人がどう関わって問題を解決していくのかは非常に興味があり、今度この映画を見させていただきたいと思う。

【意見】

- ・ 中央林間西に住んでおり、座間市との境である。
- ・ 駅までの公共交通機関がない。
- ・ 引っ越す前から駅からの路線バスがないことは分かっていたが、諸事情で今の場所に住んでいる。
- ・ 今は駅の近くに駐車場を借りて、車を使っている。
- ・ 座間市コミバスのバス停の方が近くにあるが、大和市の公共機関には行かないので、市役所など大和市の公共機関に行くときには車を運転して行くが、この先、車を手放したらどうしようということがある。
- ・ 他のかたからも、催し物などにどうやって行けばよいのだろうという話が出ている。
- ・ 大和市コミバスのバス停までは、徒歩で10分はかかる。
- ・ タクシーは、タクシーアプリも使うが中々つかまらない。
- ・ この状況がなんとかならないかということをお願いしたい。

【市長】

- ・ 大和市に交通不便地域があることは、議員からも指摘があり、承知はしている。
- ・ 大和市は、他地域の歩いて行けないような交通不便地域に比べると、私鉄3社8駅あり、概ね20分圏内で行ける。
- ・ 市としては、交通空白地域はないという共通認識ではある。
- ・ ただ、何らかの不自由を抱え、バス停まで歩けないという声も聴いている。
- ・ コミュニティバスに関しては、もっといい政策がないか、オンデマンドのバスやグリーンスローモビリティ（20キロほどのスピードでバス停まで運ぶ）などの先進事例を職員と分析、検討しているが、財政が厳しいこともあり、実行できていないのが現状である。
- ・ コミュニティバスは総額でかなりの予算になっており、整理をして、10月1日から「のろっと」は100円から200円、「やまとんGO」は150円から250円となる。
- ・ 80歳以上のかたは、無料となる。
- ・ コミュニティバスのバス停まで行けないかたをどうするかは、検討段階である。
- ・ 市境について、今、海老名市、座間市、綾瀬市、大和市の4市で広域連携を行っており、消防の通信指令を共同運用するなどしている。
- ・ コミュニティバスも、それぞれの市で市境を走ると無駄がある。
- ・ それぞれの市が市境を少し越えて運行し、それで台数が減った分を交通不便地域と言われるところに割り振るなど検討している。
- ・ 高齢のかたの孤立を防ぐため、外出の創出はしていきたいと思っており、もう少し時間をいただきたい。
- ・ 本日の意見は、所管課にはしっかりと伝えたい。

【意見】

- ・ 現在、他市の包括支援センターに勤務している。
- ・ 高齢のかたが増えてきており、介護問題、医療問題が心配なところがある。
- ・ 医療、介護にかかる費用も増え、担い手の問題もある。
- ・ 処遇は改善してもらってはいるが、厳しくなっていきそうであり、外国人のかたもたくさん来て頑張ってくださっているが、円安の影響で今後どうなるかということもある。
- ・ 大和市での我が事を考えても不安がある。
- ・ 今後について、市長の考えを聞きたい。

【市長】

- ・ 肌感覚で、少子高齢化で、すべてにおいて人が足りない状況というのがある。
- ・ それと並行して、A I やD Xが進んでいくところもある。
- ・ A I やD Xでの効率化も大事ではあるが、そこで経費を削減できた分をどう福祉に回していくか、福祉はお金がかかるので、どのようにやっていくかは全庁的な課題である。
- ・ 私は、ひきこもりのかた、大和市では「こもりびと」と定義しているかたへの対応に光を当てていきたいと考え、海老名市、座間市、綾瀬市、大和市の4市での広域連携として、ひきこもりの地域センターを提案している。
- ・ ひきこもりのかたに表に出ていただき、交流してもらい、最終的には就労できる形を作っていきたい。
- ・ 外国のかたがたの力も借りるが、並行して、日本のかたがたをしっかりと雇用できる形をつくっていきたいと思っている。
- ・ ひきこもりのかたに、在宅勤務で就労していただくなども考えたい。
- ・ 介護の現場も人が足りないと、高齢者施設の会合でも施設長が切実に言われている。
- ・ 市だけではできないので、国・県には繰り返し強調して伝えたい。
- ・ 人がいないなら、できないなりにやれる形をつくらないと回らなくなるという危機感を持っている。
- ・ 指摘の内容は所管と共有したい。

【意見】

- ・ 市民として、教育費に比べ、福祉の方にたくさんお金が使われているような感覚がある。
- ・ 子育て政策はたくさんあるが、6歳以上の子ども達のために何かとか、そっちの方が足りないような気がしている。
- ・ 実際、学校現場を見ると、設備が古かったり、壊れても直せなかったり、剪定もする労力がないなど、みんな困っているのになんとかならないかと思っている。
- ・ 今日はその辺を伺いたく参加した。

【市長】

- ・ 大和市は「子育て王国」と名乗り、0歳から6歳児のところを手厚くした。
- ・ 大和市は居住が多く、企業が撤退した跡地は住宅やマンションになっている。
- ・ 多くの人から選ばれていてすごいことである。
- ・ 一方、子育て、教育、福祉と様々なお金が必要となり、今の財政構造だと厳しい状況となる。
- ・ 保育園の数は、同規模人口の茅ヶ崎市では85園だが、大和市は115園あり、お金は何億円も違ってくる。
- ・ そこが大きくなった分、中々教育に回らない部分はある。
- ・ シリウス、ポラリス、やまと公園（プロキオン）と箱物を造った分のしわ寄せとして、学校の大規模改修ができていない状況が事実としてある。
- ・ 小学校、中学校にも光を当てて、放課後、子ども達が居場所づくりで楽しく過ごせて、そこに意義があるもの、将来やりたいこととか夢に向かって頑張れるような、エンジョイスポーツも一つのきっかけだが、方向性が見出せるようなことをやりたいと思っている。
- ・ 子ども達を地域とつなげて、子ども達が学べること、やりたいことを、どんどんやっていきたい。
- ・ 市長は、教育の分野のことはあまり言えない。
- ・ 教育と政治は離して、教育の運営に関しては教育長となり、市長に権限がない。
- ・ 教育長には、1時間目から4時間目までは学習指導要領にのっとった内容でよいが、給食を食べた後は、自分が本当になりたいものや興味のあることを学ばせ、先生が教えるのではなく、子どもが聞いてくるまで待つコーチングのような形で、子ども達の夢や希望ややりたいことを伸ばせるような形にできないのかと言ったら、学習指導要領があり、何を何時間やらないと認めないというコマが決まっているということであった。
- ・ 想いとしては、福祉にはお金がかかるが、財政を立て直して、教育にも目を向けていきたい。

【意見】

- ・ 中学校のPTAで美化活動をしているが、学校の木が荒れ放題で、そういったものを地域で何かできないかと思っている。
- ・ 校庭の学校開放をしている小学校では、地域のかたと一緒に清掃活動をしているところもある。
- ・ 中学校は校庭の学校開放はしていないが、周りに住んでいる地域のかた達を巻き込んで、剪定や草刈りを年に数回できれば、お金をかけずに美化作業ができるのではないかな。
- ・ 東名大和バス停から空港まで行けるようになったことに感謝している。
- ・ かつて、私の住んでいたところでは、奉仕活動が年に何回かあり、学校の掃除は親がしていた。

- ・ 大和市にも道具を持っておられるかたはいると思うので、そういうかたがたが奉仕作業で集まって大規模に実施できたら、お金をかけずに学校などの美化活動ができるのではないかな。
- ・ 思い出として、子ども達も清掃に参加していて、学校にほうきが並んでいたことを覚えている。
- ・ 掃除の時間をとても大事にしており、自分達でした落書きは自分達でペンキを塗ったりしていた。
- ・ 大和市の学校には外を掃くほうきがないなど。
- ・ 自分のことは自分達で賄うようなことをしたら、美化活動のお金は削れるのではないかな。
- ・ リサイクルでお金を生み出すようなこともできるようになるとよい。

【市長】

- ・ ごみはそのまま捨てればごみだが、分別して資源にしていくというのは、大和市も力を入れている。
- ・ 現在、「LUCKY GET大作戦」という事業をしている。
- ・ 大谷翔平選手のごみを拾うと運を拾うという考え方は素晴らしく、6月1日からごみ拾いをしたらポイントがつくような形にして、みんなでごみが落ちていたら片づける、それが運を拾うという形で、大和市がきれいになっていけばよいと取り組んでいる。
- ・ 地域のかたともつながって、きれいになっていけばよいので、人と人とがうまくつながり、できるようになればよいなど、今力を入れている。
- ・ 光ヶ丘中学校と引地台中学校の生徒が素晴らしい取組をしている。
- ・ 市民まつりで、自分たちで自発的にごみ拾いをしてくれている。
- ・ 生徒達のごみ拾いしているのを見て、他のかたも拾ってくれていた。
- ・ そういった輪が地域でつながるような形になってくれるといいと思う。
- ・ 人の善意をつなげて、効率よくやっていくことは大事だと思っている。
- ・ ごみだと思っていたものが、他の人からは必要で価値のあるものだったら、そういうことをつなげて、ごみを減らすのも大事である。
- ・ そういった考え方をもって、行政としてやっていきたい。
- ・ ごみの資源化は大事であり、生ごみも堆肥化して循環型社会というのをやっていきたい。

【意見】

- ・ 先週、公園の整備でお花の植え替えをしたが、去年までは市からもらっていたが、財政難ということで共感はあるが、今年からもらえない状況であった。
- ・ 来年3月から花博が隣の瀬谷で開催される。
- ・ こちらの方で、市内の公園整備用の花苗をいただけるよう動いてもらえると非常に助かる。
- ・ 去年は、保土ヶ谷、辻堂、相模原、秦野と、神奈川県で動いたのだと思うが、

無料で配っていた実績もあったりする。

- ・ 現在、藤沢町田線のところや、県が所有しているところは、機運醸成という名目で、お花が無料でもらえる。
- ・ シャトルバスが瀬谷と三ツ境と十日市場と南町田から出るが、大和からは出ない。
- ・ 大和は渋滞に巻き込まれる可能性が非常に高いと予測できる。
- ・ 抜け道、裏道に使われることが、すぐに予測できる。
- ・ それにより事故の件数や、子どもの飛び出し、ペットのロードキルなどが結構増えてくる。
- ・ 更に危惧することとして、道路は傷むのが早い。
- ・ 大和市はマイナスの影響ばかり受けて、プラスのことがない。
- ・ 隣接しているにも関わらず、恩恵を受けていないのは大和市だけではないか。
- ・ できれば、市内のお花の苗だけでも無料でいただいたり、まだ試運転はしていないので、シャトルバスを大和からも出してもらったりということをお願いしたい。

【市長】

- ・ お花の件は、財政事情からだと思うが申し訳ない。
- ・ なんとか財政を立て直したい。
- ・ お花は植えていきたいと考えている。
- ・ 来年は、花博があり、隣接市として、一緒に花を感じられるようにしていきたい。
- ・ 花博の協会とも話して、例えば、大和市も協力するので折半でといった働きかけもできると思うので、お花で協力できることをやっていきたいと思うので、持ち帰って横浜市に投げかけてみたい。
- ・ 横浜市の市長や副市長に会う機会は多く、シャトルバスについては、かなり前から言っているが、国の事業で横浜市が実施するものだが、横浜市である程度完結したいというのがあり、いろいろな会社も絡み、大和市は入れない状況である。
- ・ 大和市は道路も限られ、大和駅からシャトルバスが入っていくとなると、光が丘の交差点からでないといけないと行けなかったり、北の方だと、中央林間の方からだと、国道16号からでないといけないと行けなかったりという状況である。
- ・ 抜け道、裏道のところは、シャトルバスは通れない。
- ・ であれば、やまとんGO（ハイエース）くらいの大きさなら入れるのではということで、オークシティに車を停めて、そこから渋滞緩和としてバスで花博に行くのは、県と話し合い了解はとれている。
- ・ 横浜市には、生活道路は絶対に渋滞するので、そうならないように、大和市としては、もっと話し合っしてほしいと強く言っている。
- ・ 横浜市は、そうならないように、国道16号、246号といった道路をしつかりやって迷惑がかからないようにしていると言うが、裏道を知っている人はそこを使う。

- ・ なんとか交通渋滞をしにくくすること、安全面の確保を訴えていく。
- ・ 道路用の土地買収は時間がかかり難しいが、啓発だったり、子どもや高齢者の安全は守っていかなければならないので、しっかり準備をしていきたい。
- ・ 花博は応援しており、瀬谷区も成功してもらい、大和も潤うということで、花博に来たら大和に寄ってもらうということをいろいろな手段でアピールし、住宅地は静かさを保ちながら駅前が賑わう形にもっていきたいと思っている。
- ・ 市民の生活は脅かさず、花博を一つのきっかけとして、その後のテーマパークだったり、その先の大和市の未来がよくなるように、テーマパークで働く人の受け皿になって若い人に来てもらうなどで、活気のあるまちにしていきたい。

【意見】

- ・ 数年前から緑内障を患っていて、文字が見づらい。
- ・ 家のパソコンはハイコントラスト(黒背景に白文字を出す設定)にしている、問題はない。
- ・ まちに出ると、どこに行っても、端末とかタブレットでセルフになっていることが多く、見づらくて使いづらい。
- ・ マイナ保険証の読み取り機は、病院、薬局により機種が違い、画面が小さいところもある。
- ・ こういう中で、障がいを持った人に対してのマイノリティの問題でもあるので、市として何ができるかということは難しいと思うが、例えばそういった機器の画面の大きさや文字の大きさや扱う色だとか、ワンタッチでハイコントラストにできるとか、機器のガイドラインのようなものを、運用方法を含めて市として制定できないか。
- ・ それを発信することで、国政や世の中にも影響を受けて、変わっていったらえれば非常にうれしい。

【市長】

- ・ ご自身の体験による困りごとを言っただけなのは、私としても職員としても気付きの場になるのでありがたい。
- ・ 障害者差別解消法が改正され、令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されており、しっかり配慮していかなければならない。
- ・ 議員からもユニバーサルデザインということで、まず市役所から、課について、一目で見て分かるものという意見もあり、そういったものを作ることにも検討している。
- ・ まずは、公共施設の場から、そういった分かりやすいということをやりたい。
- ・ ご提案の内容も検討していきたい。

【意見】

- ・ 去年提案した厚木飛行場の跡地に県庁を中心とした学園都市構想について、どうか。
- ・ 回答は見えていないので、やってくれているのかどうか分からない。
- ・ 大和市の公園には名前が付いていないし、管理者がいない。
- ・ 建設業法では、現場には担当者を決めて、担当者が1日に必ず1回見なさいというようになっている。
- ・ 公園条例があるのかどうかは知らないが、ないなら作って、担当者を選任し、管理をきちんとしてもらいたい。
- ・ 見ていると、雑草が生い茂り、施設も壊れたままで、看板がやたらと多いが小中学生がすぐに壊してしまう。

【市長】

- ・ 学園には若者が集まるし、学問を経て知識を増やしていくということは非常に重要だと思っているので、将来基地が返還された暁には、その考え方もよいと思う。
- ・ ただ、返還というのは現状では難しい状況であり、それまでは今の基地をどのように有効活用していくのか、いろいろなかたを話に巻き込み、基地について考えていきたい。
- ・ 公園に関しては法律もあり、名前も全部付いている。
- ・ ただ、その名前の書いてある看板が分かりづらかったり、小さい公園で名前の看板がなかったりはある。
- ・ 公園で、よく市民から指摘を受けるのが、小さい公園が道路を挟んでもう一つあり、なぜこんな無駄なことをやるのかということである。
- ・ 法律で、一定の規模以上の開発をするときは、そこに公園を造るという決まりがある。
- ・ その時に一番家が建てやすいように設計すると、結果として、道を挟んで公園が2つあるという状態になり得る。
- ・ 公園は市に移管され、市が管理するが、市民からするとなぜこんな無駄なことをやるのかとなる。
- ・ こういう状況は非効率であり、公園のないところに造ってもらえるよう、そういうことを条例で定めたりということをしていきたい。
- ・ 公園は定期的に管理しているが、たくさんありすぎて、手を入れるのにもお金がかかる。
- ・ 見直しはしているところであるが、法律の壁があり、できにくい状況ではある。
- ・ 例えば、公園を減らして、そのお金で他の公園の遊具を整備したりと、皆に喜ばれる形にしていきたいと思っている。
- ・ もう一つの考え方として、公園を借りたいとのことであればその公園を貸して、その代わり、お金は取らないが、雑草を抜いてもらい、地域のかたが喜ぶ形にしてみよう。

- ・ 東京の自治体でやっているところもあり、そういった新しい感覚、お金をかけて雑草を管理するのではなく、借りたいところがあれば貸して、その代わり、使用した企業にきれいにしてもらおう。
- ・ そういった発想も職員と共有し動いているので、そうやって少しでもきれいな公園にしていきたい。

【意見】

- ・ まちづくりを中長期的な観点で考えたときに、今の10代の子どもたちが、地域への愛とか、またこのまちに戻ってきたいというようなところを育んでいくという視点で、市長はどういうことを考えているのか伺いたい。
- ・ この夏で社会教育士を取得するが、今の和泉市はコミュニティスクールとか地域学校協働本部にあまり力を入れていなくて、地域とのつながりとは言っても、形だけで何も生まれていない。
- ・ 子ども達が、まちの役に立ったとか、このまちに戻って来て何かしたいといったことを感じるのかなという目で見ると、あまりないように感じている。
- ・ 和泉市は大学がないので、一回外に出て戻ってくるという意味では、小学校・中学校の原体験をしっかりと残すことが大事だと思っていて、そうでないと人口が減っていき、和泉市にある会社を継いでいくとき、新しい産業が生まれ出せるかという、結構危機かなと思う。
- ・ 自分が出来ることを和泉市に何か還元できたらと思い今日は参加しており、具体的なアイデアや意見ではないが、考えを伺えればと思っている。

【市長】

- ・ 和泉市にずっと住んでいるが、和泉市に何がと言われると中々難しい。
- ・ ただ、ここで生まれ育って生きてきて、和泉市のことを愛してほしいし、郷土愛を育てていきたい。
- ・ そのためには、子ども達が、人と地域と友達と、学校でつながって、地域でつながって、和泉市に住んでいてよかったな、楽しいと思ってもらえるようなまちにしていきたい。
- ・ 郷土的なものが中々難しく、都市部の難しさがあり、やることもたくさんあり分散していつてしまうところが、いいところでもあり、悪いところでもある。
- ・ 例えば高校野球においても、おらがまちで優勝といっても、地域により反応にだいぶ差がある。
- ・ 郷土愛というところの難しさはあるが、実は安心して暮らせて、皆が日々日常の中で楽しく暮らせていることがいいのかなというところもあるし、ご指摘のように、なければつくっていくのもよいと思っている。
- ・ 今つくっていききたいことの一つは、スポーツ、文化、芸術を、もっと地域でつなげていくことである。
- ・ 放課後、遊んでいる子ども達や児童クラブにいる子ども達は、基本的に、安全に居られるために見守られている。

- ・ その場で、遊び方、音楽、芸術、スポーツを教えるとかで、地域のかたがたをつなげていければと。
- ・ 教える、導いてくれる人として、昔は、2、3歳年上のお兄さんお姉さんが一緒に遊んで教えてくれた。
- ・ 今、見守っている時間で、子ども達がスポーツをしたり、音楽をしたりできればと。
- ・ 今、エンジョイスポーツでは、中学校部活動の生徒が教えに来たりしている。
- ・ 中学生が子ども達に教えると、中学生も自身が理解していることを教えることの難しさに気付き、学びの深さにもつながる。
- ・ 地域の高齢者のかたも、縫物や編み物などいろいろな技術を持っているので、子ども達にそういうことを教えたりとか、地域で子どもを育て、地域の財産をうまくつなげていけたらよい。
- ・ 人のつながりで大和市をよくしていきたい。
- ・ 大和市は人口が増えている。
- ・ 直近の国勢調査で県内での人口数の増は、1位が川崎市多摩区、2位が大和市であり、全国では14位で、まだまだ選ばれている市である。
- ・ 私鉄が3社8駅あって便利であり、自然災害に強い。
- ・ 自然災害で亡くなったかたは、いまだにゼロである。
- ・ 水害にも強く、もちろんそれに胡坐をかかず力を入れていくが、大和市は災害に強い。
- ・ 今は、花博とか、厚木基地が民間利用できるのではとか、いろいろな意味で大和市が人からも企業からも選ばれるまちになっている。
- ・ それを最大限引き上げ、少しでも税収を上げ、それを福祉や人の幸せのために使っていきたい。
- ・ ぜひ力添えをいただきたい。

【意見】

- ・ 2点あり1つ目として道路に関し、マナーが悪いのが一番ではあるが、制限速度を守っていない。
- ・ 鶴間の生活道路では、一方通行くらいの幅のせまい道を対向車が走っている状況である。
- ・ 警察にも話しているが、規制をかけることは簡単なことではない。
- ・ そういうときこそ、鶴間の方の自治会では、「生活道路だから通行をご遠慮ください」と掲げて効果が出ているが、電信柱に付けるのにも許可がいる。
- ・ いつか事故が起こるのではないか。
- ・ 車のナンバーを見ても、抜け道で使っているのが分かる。
- ・ この辺りをなんとか改善してもらいたい。
- ・ 2点目、自治会について、高齢化が進んでおり、成り手不足のためと言われるかもしれないが、認知を患われたり、アルコール依存症のかたが役員になったりしている例もあり、それで果たしてよいのか。

- ・ 市民と自治会のメンバーで、うまくいかないようなことがあると思うので、全世代平等とは言わないが、ある程度若手を入れていくとか、自治会の在り方を考えていただけないか。

【市長】

- ・ 市長になりやりたいことはたくさんあるが、道路の用地買収1つをとっても、時間がかかる。
- ・ ご指摘のせまい道は一方通行にできないのかと言ったら、地域のかたから厳しいお言葉をいただいた。
- ・ 一方通行になると不便は生じるし、土地の価値が下がってしまうかもしれない。
- ・ 道路一つとっても地域のかたの合意形成が必要である。
- ・ そうは言っても、通学路がなくて、歩道がなくて、ガードレールがなくて、車が子どもに突っ込んで亡くなるなんていうことはなくしたい。
- ・ 嫌われてもよいから、通学路にガードレールを造って、車が突っ込まないようにするのは、行政のトップである私の責任だから、これはやる。
- ・ 時間がかかるなら、かかってもよい。
- ・ なぜなら、道路計画に落とし込まなければならない。
- ・ 通学路なら1 m幅の歩道をつくる。
- ・ そのため、両脇の家を建て替える時に、建築確認を出すときに、50 cmお互いセットバックしてくださいと。
- ・ 土地は減り、資産価値が減ると厳しいお言葉をもらうことになるが、子ども達のために我慢してくださいと言うしかない。
- ・ 建替える時にセットバック50 cmとする。
- ・ 将来、家を建て替えるのに何十年もかかるかもしれないが、それで子ども達が学校まで行くのに、ガードレールが全部あり轢かれることがなくなったら、そして道路が広くなれば安全、安心で暮らせる。
- ・ これは、今まではできなかったが、やりたいと所管部署と話している。
- ・ ハードルは高いが、子ども達が通学路で危ないところは、網掛け（公図で建築基準法に基づきセットバックを必要とする道路にかかっていることを示す）してでもやりたいと思っている。
- ・ 地域のかたから厳しい声があるのは覚悟の上で、都市計画道路に網掛けしていこうと。
- ・ 議員時代に、家を建て替えるというかたから、うちの前に歩道がないから網掛けしてくれと言ってきてくれた。
- ・ 当時の市長はやらないということで、実現できなかったが、そのかたは網掛けしてくれれば次はセットバックすると言ってくれている。
- ・ 飲酒運転撲滅などは当たり前のことだが、行政は行政でやれることをやらなければならない。
- ・ 通学路で危ないところは分かっているので、その網掛けはやっていきたい。
- ・ もう一つ、隅切り（道路の交差点や曲がり角にある土地の角を切り取り、道

路状の空地にすること) について、大和市は密集しているので、救急車や消防の車が入りづらいところがたくさんある。

- ・ 1分、1秒が大事なときに、救急車が2回、3回と切り返してやっと曲がれるということをやっている。
- ・ 少しでも角を切ってもらい寄附してもらおうということを、東京都の自治体で1カ所事例があり、条例でやりたいと考えていたが、まだ難しい状況である。
- ・ 市民からも発意が出始め、声があがってくればできると思うので、子どもの通学路も含め、市長在任中は呼び掛けて、やっていきたい。
- ・ 自治会が高齢化しているので、新しいやり方や先進事例をしっかりと学びたい。
- ・ 役員を作ると、役員の負担が大きい。
- ・ 今、成功しているところは、自治会長以外、役員を置くのをやめて、LINEで手伝える人は来てくださいます。
- ・ 10分でいいので手伝ってもらえませんかと打診すると、来てくれる人がいるみたいで、役員はいやだけど、お祭りの準備を手伝うのはいいよと。
- ・ 手伝うとお祭りも参加しやすくなる。
- ・ そういったちょっとの時間でも手伝ってもらっている自治会は成功している。
- ・ みんなでやれることはやろうという形での成功事例もできている。
- ・ 日本で災害があったときに、略奪とか暴動が起きないのは、世界から驚かれる。
- ・ 日本は救援物資が来るとバケツリレーで運んだりして、みんなで助け合っている。
- ・ これは、自治会とか、地域が顔見知りの状況を作っているというのも一つの大きな要因である。
- ・ そういった日本人のいいところは、しっかり生かしていきたいと思っている。